

様式第1号(第6条関係)

丹波篠山市生物多様性促進活動補助金交付申請書

令和〇年5月1日

丹波篠山市長

様

住所 丹波篠山市〇〇〇〇番地

団体名 〇〇〇の会

代表者名 篠山 太郎

電話番号 XXX-XXX-XXXX

令和〇年度において、丹波篠山市生物多様性促進活動事業を下記のとおり実施したいので、補助金 31,000 円を交付願いたく丹波篠山市生物多様性促進活動補助金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 補助金交付申請額 31,000 円
- 事業内容及び経費の配分（別添事業計画書のとおり）
- 添付書類
事業計画書（様式第2号）
事業経費がわかる見積書等（ビオトープ維持管理の場合は不要）
事業予定地所有者等の同意書類
事業予定地の位置図
事業予定地の現況写真
その他（ ）

様式第2号(第6条・第13条関係)

丹波篠山市生物多様性促進活動事業(変更) 計画書 報告書

1 活動の種類(いずれかに○をつけてください。)

- ・ ビオトープ維持管理 (休耕田ビオトープ・掘り上げ)
- ・ 生物多様性の保全再生活動
- ・ その他市長が認める活動

2 事業内容

活動期間	令和〇年5月1日 ~ 令和〇年3月31日
活動場所	丹波篠山市北新町〇〇ノ坪123(12.5a) 〇〇ノ坪124(13.0a)
活動の目的 (保全対象動植物)	(活動の目的や背景、地域の現状・課題、個人的な関心などについてご記入ください) 絶滅危惧種に指定されているモリアオガエルは、集落内でも以前に比べて見かけることが少なくなった。モリアオガエルが産卵できる環境をつくるため、年間を通して水を張った状態で休耕田を管理する。
活動の内容	(具体的な活動の内容・方法をご記入ください) 下記の作業を行い、休耕田を通年湛水状態に保ち、モリアオガエルやアカハライモリなどの水生生物の生息場所を確保できるよう維持管理する。 ・草刈り(〇月、〇月) ・トラクターで耕うん(〇月) ・水の管理(通年) ・地域の子ども会と生きもの調査(〇月)

様式第2号(第6条・第13条関係)

丹波篠山市生物多様性促進活動事業(変更) 計画書 報告書

1 活動の種類(いずれかに○をつけてください。)

- ・ **ビオトープ維持管理**(休耕田ビオトープ **掘り上げ**)
- ・ 生物多様性の保全再生活動
- ・ その他市長が認める活動

2 事業内容

活動期間	令和〇年5月1日 ~ 令和〇年3月31日
活動場所	丹波篠山市北新町〇〇ノ坪123(65.0m)
活動の目的 (保全対象動植物)	(活動の目的や背景、地域の現状・課題、個人的な関心などについてご記入ください) 田んぼの排水を良くするための溝を深く掘り、年間を通して水を張った状態で維持することで、中干しなど水を張らない時期にオタマジャクシやメダカが避難できる場所をつくる。
活動の内容	(具体的な活動の内容・方法をご記入ください) 下記の作業を行い、江・掘り上げを全年湛水状態に保ち、トノサマガエルやメダカ、ドジョウなどの水生生物の生息場所を確保できるよう維持管理する。 ・ 草刈り(〇月、〇月) ・ 泥上げ(〇月) ・ 水の管理(通年) ・ 生きもの調査(〇月、〇月)

様式第3号(第7条関係)

丹波篠山市生物多様性促進活動補助金交付決定前着手届

令和〇年5月1日

丹波篠山市長

様

住所 丹波篠山市〇〇〇〇番地

団体名 〇〇〇の会

代表者名 篠山 太郎

電話番号 XXX-XXX-XXXX

令和〇年5月1日付で交付を申請している事業について、補助金の交付決定前に着手しますので、別記条件を了承の上、丹波篠山市生物多様性促進活動補助金交付要綱第7条の規定により届け出ます。

記

申請書(様式第1号)
提出日と同じ日を記入

- 1 事業の着手予定年月日 令和 〇年 5月 1日
事業の完了予定年月日 令和 〇年 3月31日

2 事前着手の理由

(ビオトープ維持管理の例)

交付決定前に湛水状態の維持や草刈り等の管理作業を行う必要があるため。

(別記条件)

- 1 交付決定がなされなかった場合又は交付決定を受けた補助金額が交付申請額に達しない場合においても異議がないこと。
2 当該事業について、着手から交付決定を受ける期間内においては、計画変更を行わないこと。

ビオトープ維持管理に関する協定書

丹波篠山市長（以下「甲」という。）と申請者_____（以下「乙」という。）とは、丹波篠山市生物多様性促進活動補助金交付要綱の規定により、乙が行う令和6年度丹波篠山市生物多様性促進活動補助金によるビオトープ維持管理活動（以下「活動」という。）において、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲と乙が相互に連携・協力し、ビオトープ維持管理_____組むことで、市民全体の財産である生物多様性の保全と再生に寄与することを目的とする。

（維持管理の内容）

第2条 乙が行う維持管理の内容は、次のとおりとする。

- （1）定期的に湛水状態と生きものの生息状況の確認を行う。
- （2）産卵期等の生物史に配慮して草刈りや泥上げ等の管理作業を行う。
- （3）他の地域からの生きものを持ち込まない。

（維持管理に係る指導等）

- 第3条 甲は、活動がより効果的なものとなるよう、現地確認や指導・助言を行うものとする。
- 2 乙は、甲から指導・助言があった場合、その内容に沿って適切に維持管理を行うものとする。

（普及啓発等）

- 第4条 乙は、周辺の土地所有者や近隣住民と良好な関係を保ち、活動に対しての理解を得られるよう努めるものとする。
- 2 乙は、この活動を広く波及させるため、看板等の設置、調査研究や観察会の場の提供等に協力するものとする。
- 3 甲は、この活動について積極的に広報を行うものとする。

（その他）

第5条 本協定について、疑義が生じた時又は本協定に定めのない事項については、その都度、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲、乙それぞれ署名または記名押印のうえ、各自1通を保管する。

年 月 日

申請書(様式第1号)
提出日と同じ日を記入

甲 住 所 丹波篠山市北新町 41
氏 名 丹波篠山市長 酒井 隆明 ㊟

乙 住 所 _____
氏 名 _____

申請者名を自署

申請者名を自署